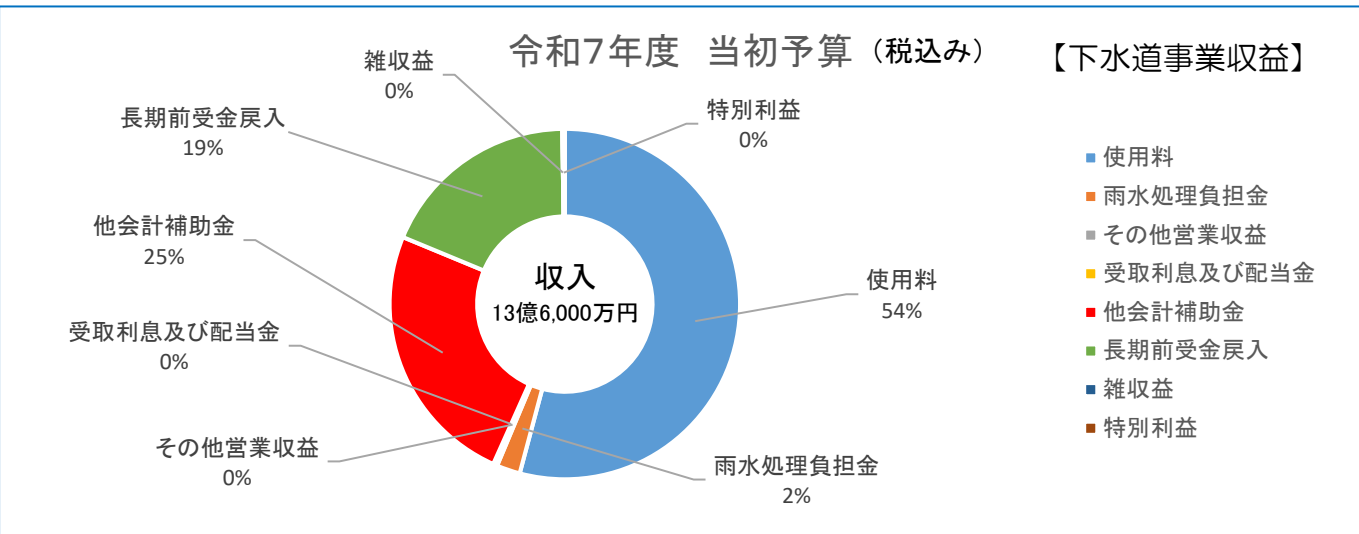


令和7年度 下水道事業会計予算について

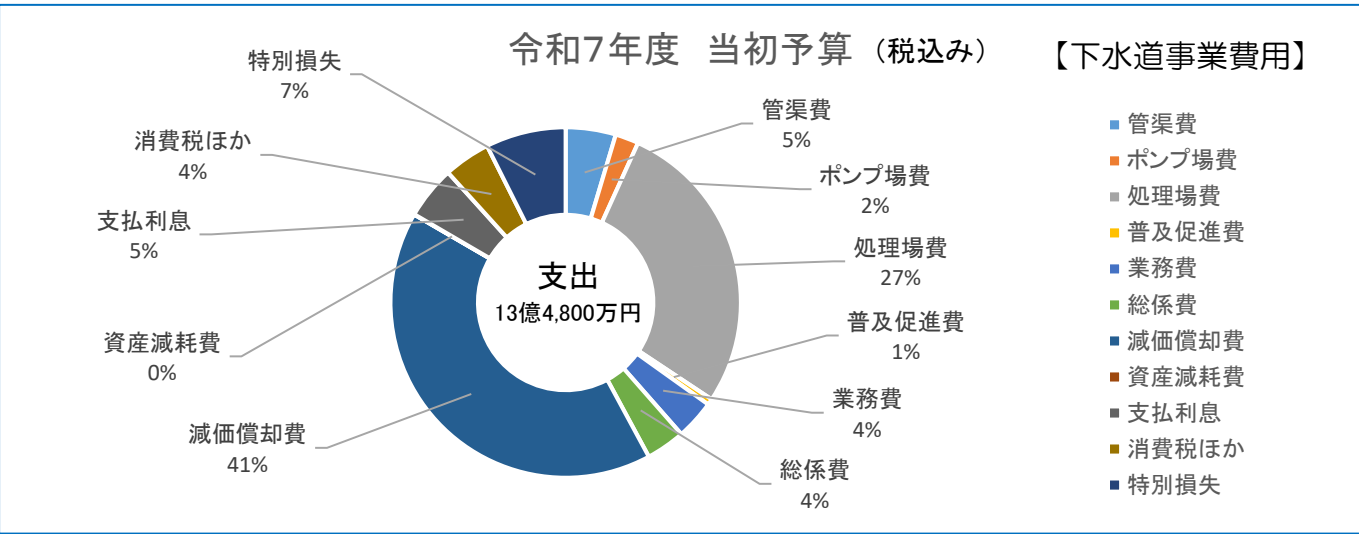
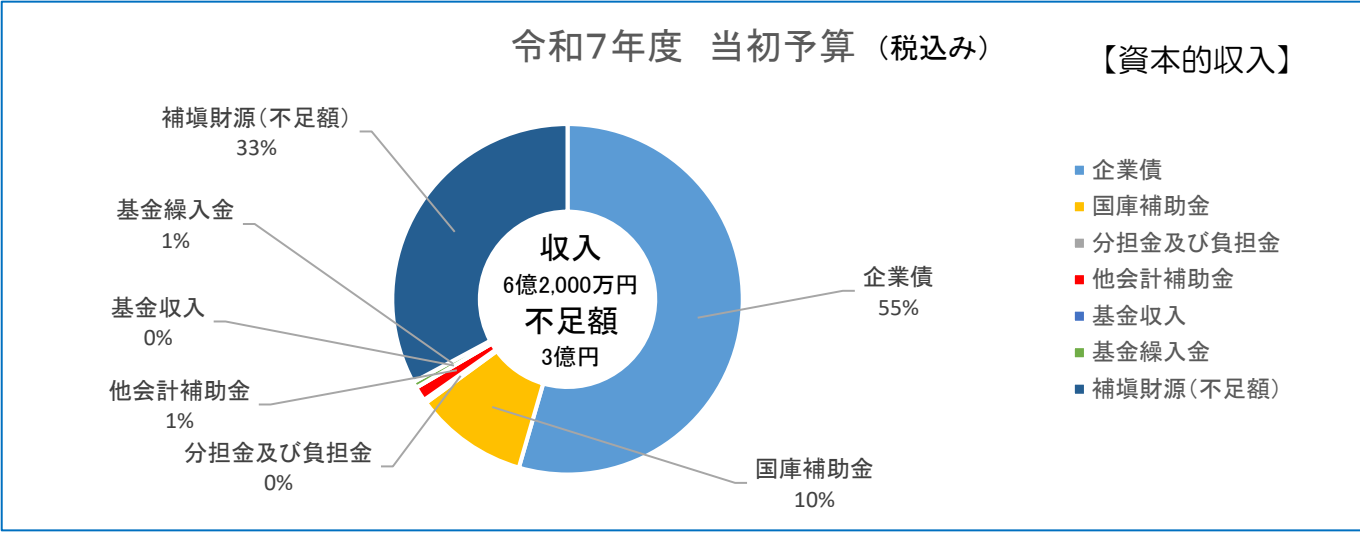
下水道・資料1

下水道事業会計の予算は、2つの収支、2つの事業で構成しています。
企業会計方式によって会計処理を行う下水道事業会計は、雨水やご家庭などからの排水を処理することによって発生する収入と支出を計上する「収益的収支」と、下水道施設の建設・改良など、施設を整備することによって発生する収入と支出を計上する「資本的収支」の2種類があります。
また、下水道事業会計は、下水道事業と農業集落排水事業の2事業を1つの事業会計として構成しています。下記のグラフは、下水道事業と農業集落排水事業の2事業をまとめ、下水道事業会計予算として表しています。

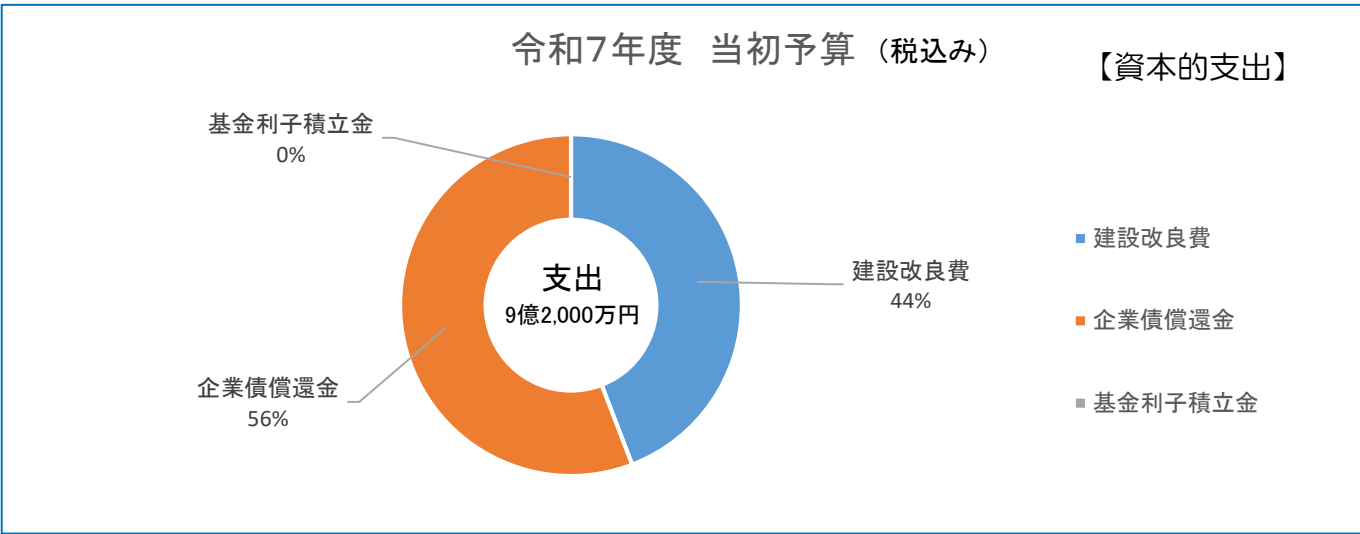
雨水や排水を処理するための収入と支出 〔収益的収支〕



下水道施設を整備するための収入と支出 〔資本的収支〕



令和7年度 当初予算（税込み） 【資本的支出】



収入と支出の差引額は、約1,200万円のプラスとなります。前年度当初予算と比べて、収入は、使用料が約5,000万円増加する見込みです。支出は、処理場費において、修繕費が約3,900万円、特別損失が約1億円増加する見込みです。

収入と支出の差引額は、約3億円の不足となるため、損益勘定留保資金や減価積立金などの補填財源で補います。前年度当初予算と比べて、収入は、一般会計補助金が約1億1,000万円減少する見込みです。支出は、建設改良費が約6,500万円減少する見込みです。